

予算決算常任委員会
(文教厚生分科会)

令和8年6月12日

大治町議会 予算決算常任委員会記録（文教厚生分科会）

招 集 年 月 日	令和 8 年 6 月 1 2 日
招 集 場 所	大治町役場 第1委員会室
開 会	6 月 1 2 日 午前 1 0 時 0 0 分（第1日）
出 席 委 員	1 番：池田耕介 3 番：手嶋いずみ 6 番：鈴木 満 9 番：松本英隆 10番：林 健児 12番：林 哲秀
欠 席 委 員	な し
委 員 外 議 員	2 番：八神太紀 4 番：後藤田麻美子 8 番：若山照洋 11番：吉原経夫
会議事件説明 のため出席し た者の職氏名	町長：鈴木康友 教育長：梶浦寿男 福祉部長：大西英樹 教育部長：水野泰博 福祉部次長兼民生課長：猪飼好昭 多世代交流センター所長兼介護・障害認定審査課長：立松 浩 学校教育課長：太田悦寛 社会教育課長兼公民館長：加藤裕一 スポーツ課長兼スポーツセンター館長：佐藤友哉
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局長：横井宗宣 係長：櫛田初代 主任：伊藤奈央子
付 託 事 件	議案第23号 令和8年度大治町一般会計補正予算（第1号） 議案第29号 令和8年度大治町一般会計補正予算（第2号）

令和8年6月大治町議会定例会
予算決算常任委員会（文教厚生分科会）審査日程

（第1日）

令和8年6月12日（金） 午前10時00分開会

1 開会宣告

2 審査日程の報告

日程第1 議案第23号 令和8年度大治町一般会計補正予算（第1号）

日程第2 議案第29号 令和8年度大治町一般会計補正予算（第2号）

~~~~~ ○ ~~~~~

午前 10 時 00 分 開会

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

ただいまの出席委員は 6 人です。定足数に達していますので、ただいまから予算決算常任委員会文教厚生分科会を開会します。

本分科会が担当する案件について、御手元に配付の日程のとおり審査を行ってまいります。

これから本日の会議に入ります。

なお、分科会におきましては討論・採決は行わず、質疑のみ行いますので質疑は簡潔にお願いいたします。

議案の討論・採決は予算決算常任委員会全体会また本会議において行います。

日程第 1、議案第 23 号令和 8 年度大治町一般会計補正予算（第 1 号）を議題とします。議場で提案説明がありましたので、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方どうぞ。

鈴木委員。

◎鈴木 満委員

24 ページ多世代交流センター空調設備改修工事ですが、これまづいつこれ故障しているってことを気づいたんでしょうか。

◎多世代交流センター所長兼介護・障害認定審査課長 立松 浩

一番当初気づきましたのが 3 月の 3 日となります。

3 月、はい。

◎鈴木 満委員

当初予算には間に合わなかったということですか。

◎多世代交流センター所長兼介護・障害認定審査課長 立松 浩

3 月の当初に判明いたしまして、そのあと原因の調査にちょっと時間を要しました。それに伴いまして実質的に報告等を全て分かったのが 3 月の 17 日中旬以降で実際に今回の補正に上げさせていただいた金額ですね、見積り等が出てきましたのが 3 月の 24 日、3 社上げたのが 4 月に入ってからになりましたので、当初補正として上げさせていただこうかな 3 月補正で間に合うかなと思って急いでおったんですけども、どうも間に合わなかったのが今回の補正として計上させていただいたという次第になります。

◎鈴木 満委員

これ答えていただいたのかもしれませんが、改めて確認ですけど、これ工期っていつまでかかるんですか。

◎多世代交流センター所長兼介護・障害認定審査課長 立松 浩

一応2カ月を予定しておりますので、実際これを認めていただいた後事務手続入りまして8月の末を予定して今進める計画でおります。

◎鈴木 満委員

いつからですか。

◎多世代交流センター所長兼介護・障害認定審査課長 立松 浩

できれば早めには事務契約を結びたいと考えておりますけども、7月の頭に契約しまして8月31日までには工期を結びたいと思っております。ただ納期がですね、1カ月ほどかかる予定で今聞いておりますので、できるだけ早く事務契約を進めまして、暑さもありますので、なるべく早く納品次第、設置に入って対応していきたいというふうに考えております。

◎鈴木 満委員

今言われた工期ですけど7月上旬から8月の下旬と一番暑い期間にこれ空調使えないってということで、職員もそうですけど来客もどんなふうに対応していくのか。一番暑い時期に空調使えないということで対策があるのかをちょっと聞きたいです。

◎多世代交流センター所長兼介護・障害認定審査課長 立松 浩

今もそうなんですが、今の現状ですけども、扇風機を3台ロビーのほうに設置しております。またサーキュレーターも1台設置しておりますので、できるだけ空気をとどめないように換気をさせております。多世代交流センター自体の構造自体を説明させていただきますと、実際今回故障しているロビーの空調機の南側のところは事務室になっておりまして東側は玄関となるんですが、そこは軒下が長いので直射日光が入らない状態。それから北側につきましても躯体になっておりまして、実際直射日光が入る場所ではないってところがあります。ですので空気の環流でなるべく、今のところは対応できていますと。また今後もそのように対応していきたいというふうに考えております。また1階ロビーにつきましては利用者がとどまって会議とかすることもない場所でありまして、1階の和室のほうとか2階の集会室、それから多目的室のほうに、それぞれ玄関からすぐに移動されていきますので、そちらの部屋につきましては空調効かせて、なるべく避暑だとか、熱中症にならないような対策を今とっておる、またとっていききたいというふうに考えております。

◎鈴木 満委員

多世代交流センターもこれクーリングシェルターということでやっていたと思うんですけど、今年の夏はやらないということですか。クーリングシェルターとしてのその場所を確保しないということですか。この空調がある、修繕工事があるもんですから、その期間はクーリングシェルターの場所としては使えないですね。どうするんですかっ

て聞いています。

◎多世代交流センター所長兼介護・障害認定審査課長 立松 浩

1階の多世代交流室こちらは多世代交流センターのちょっと奥にはなるんですけど、そちらのところが常に自由に使えるスペースがあります。そのところにつきましては空調が効きますのでそちらの部屋に誘導し、避暑の方はそちらのほうで涼んでいただいたり、もしそちらのほうで部屋が満タンであれば、1階の多目的室ですね。こちらのほうも空調が効く、効きますのでそちらのほうに避暑していただくような形をとってまいりたいというふうに考えております。

◎鈴木 満委員

続きまして30ページ、地域クラブ活動参加者支援補助金ですけど、経済的困窮世帯ということで上がってますが、これまず対象者、対象者っていうのはちょっと詳細にどういった方がっていうことを教えていただけませんか。

◎スポーツ課長兼スポーツセンター館長 佐藤 友哉

補助の対象要件の御質問でございますが、こちらまず国庫補助を活用して実施する補助金となりまして、その国庫補助の実施要領というのがございます。そこに準じた形になります。対象者としましては、まず生活保護世帯、次が住民税非課税世帯、この二つに準ずるものと認められるものということで、児童扶養手当の支給されている世帯。市町村民税の減免の世帯、国民健康保険法の保険料の減免または徴収猶予をされている世帯、国民年金保険料の免除をされている世帯、最後に生活保護の基準額に一定の係数を掛けたものとなっておりますが、こちらは町の就学援助の認定を受けている世帯ということになります。本町についてもこちらの国の実施要領の要件と準じた形で要件を定めていく予定をしております。以上です。

◎鈴木 満委員

それとですね、対象人数 56 人、これの内訳を教えてください。

◎スポーツ課長兼スポーツセンター館長 佐藤 友哉

対象人数は56人というの見込みをさせていただきましたが、こちらの積算の根拠としまして、令和7年度になるんですけど中学生の就学援助を認定されていた方というのが約70名でありました。中学生の生徒で生徒の中で全体の生徒の中で、部活動に加入されている方というのも大体約70%ぐらいありましたので、ちょっと多めで80パーを見込みまして、70人掛ける80パーということで56というふうに見込んでおります。その中でその内訳となりますと、補助金のほうが運動部と文化部というふうに分かれております。運動部のほうの地域移行と文化部のほうと分けられてはいるんですけども、文化部のほうは今土日の地域展開を行っていく予定をしているのが吹奏楽とロボコン二つがございまして、ここもあくまでも見込みになるんですけども、それぞれ4人ずつが対象いる

だろうと見込みまして、それが文化部が8人、56人から8人を引いた48人を運動部というような見込みを立てております。これもあくまでも初年度ですのでどこの部活にどういう世帯がいるかというのは把握はできませんが、このように見込みましたが、次年度以降は実績に基づいて積算していこうとそういうふうに考えております。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

他にありませんか。

池田委員。

◎池田 耕介委員

池田耕介です。先ほどの29・30ページ生涯スポーツ振興費についてちょっと関連でお伺いをします。人数については部活の入部率というか、計算をして56人はわかりました。これもし仮に上回った場合ですね、この国の補助金は追加で申請ができるのか。不足の分は町の持ち出しになるのかお伺いします。

◎スポーツ課長兼スポーツセンター館長 佐藤 友哉

国庫補助金のスケジュールとしまして、夏以降に追加の公募、変更交付申請のタイミングがあるというふうには伺っておりますので、もし不足が生じる予想が立った場合は、変更で増額の形で国のほうには追加で申請をさせていただく予定をしております。

◎池田 耕介委員

本格的に地域展開になるのが今年からなので、スタートは様子見っていう子が想定もされるかなと思うんですけど、その追加申請のスケジュールは、例えばその12月ぐらいにやっぱり私も入りたいみたいな子も対応ができるのか。もう何でしょう、例えば秋ぐらいまでで切っちゃうのか、そのスケジュールはもう出ているものですか。

◎スポーツ課長兼スポーツセンター館長 佐藤 友哉

地域クラブの展開の始まりが8月に始まるわけですけども、今準備段階をしているところです。今回この補正を上げさせていただきました予算が認められれば、こういった補助金がございますよってことを、地域クラブに加入するしないにかかわらず部活動に参加される方、生徒を通じて全員の方にこういう周知をしていこうと思います。その中でまずは交付申請を、該当しているのであれば交付申請をしてもらおうという形を最初の部分でしっかり周知をしていきますので、そこで対応していきたいというふうには考えております。

済みません。質問が一つ答弁が漏れておりました。今回、変更交付のタイミングもこの夏以降ということはいつになるか分かりませんが、その後もまずは今、補助金についても見込みではありますが、先ほど申し上げましたとおりちょっと多めに見込みをしているので不足はないかなというふうには考えておりますが、秋以降に申し込みがあった場合にも耐えられるように、こちらの変更交付申請ですね、対応していきたいというふう

には考えております。

◎池田 耕介委員

地域連携に途中から参加するとなかなか読めないかなあとは思いますが、一番危惧するのは地域連携でお金がかかるようになるから参加をしないっていう子が出ることはぜひ避けたいと思うので、多分告知はプリントとかになると思いますが、しっかり周知をしていただいて安心して参加をしてもらえるように、これは要望です。お願いします。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

他にありませんか。

林委員。

◎林 健児委員

先ほどの多世代交流センターの空調機なんですけど、室内機が2台と室外機1台ということで、室内機はどんな室内機がつくんですか。

◎多世代交流センター所長兼介護・障害認定審査課長 立松 浩

こちらの室内機でございますが、パッケージエアコンとなっております、空冷ヒートポンプ式の室内機をとっております。こちらの空調機なんですけども、また多世代交流センターはそれぞれのロビーはロビーの単独で動くような仕組みになっておりまして、各部屋各部屋で動くような仕組みとなっておりますので、今回の室内機につきましてロビーだけ2台、それから室外機を1台を交換させていただくものとなっております。置き型ではなく天井に組み込んであるタイプとなっております。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

済みません。挙手を。

林委員。

◎林 健児委員

今お話の中で発注してから納入まで約1カ月いうところで、室内機から室外機までの距離を鑑みても、1～2日あればつくと思うんですけど。7月の頭に発注して7月いっぱいに入る。8月の頭には入る。もう入ったら本当に1～2日で付いちゃうと思うんですけどその辺はどう考えていますか。

◎多世代交流センター所長兼介護・障害認定審査課長 立松 浩

実施する工事ですね取り外して取り付けには2日間を見立てておりまして、できるだけ納期早めるように、業者決まりましたら早めにつけてもらって暑さ対策に対応してまいりたいというふうに考えております。

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

ないようですので、これで質疑を終わります。

以上で本日の日程は全て、ごめんなさい。済みません。申しわけありません。失礼しました。

日程第2、議案第29号令和8年度大治町一般会計補正予算（第2号）を議題とします。  
議場で提案説明がありましたので、直ちに質疑に入ります。

質疑のある方どうぞ。

〔「なし」の声あり〕

◎文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ

ないようですので、これで質疑を終わります。

以上で本日の日程は全て終了しましたので、これで予算決算常任委員会文教厚生分科会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時17分 閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

文教厚生分科会委員長 手嶋 いずみ